

放課後等デイサービス コロロ杉並少年隊 事業所による自己評価

平成30年(2018年)12月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	・充分と思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	0	・玄関から活動スペースまでは段差や階段が多いが、必ずスタッフがついて昇降している。 ・日頃から動線には気を付け、つまずき転倒には常に目配りをしている。 ・特にてんかん発作を持っている子どもに対しては、スタッフが必ず付いている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	・各行事や業務に対して、いつまでに何をどのように進めるかを担当者交えて話し合いつつ進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	・一年に一度はアンケートを行い、ご意見、ご要望などお伺いしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	・教室の閲覧コーナーで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5	・第三者評価は取り入れていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・定期的に必要とされるテーマで研修をすするとともに、問題があったときは申し送りの場で情報周知、意見交換をしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・保護者からのニーズはもちろん、いま必要な力を引き出し育てるプログラムを立てて、こちらから保護者に提示している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	・基本はコロロメソッドで療育を行っているので、スタッフの意識統一、技術の均一化は概ね図れている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・その日に利用するメンバーに応じて、チームで検討し、日案を立てて活動にあたっている。また、子どもの状況に応じては、即時プログラムを立て、チームで子どもの状態を良くするよう努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・自閉症特有のこだわり行動を崩し、適応行動が取れるようにプログラムし、活動している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	・土日、祝日は長距離歩行を取り入れ、持続力を養うトレーニングを中心に行うなど、基本の課題にプラスした療育をしている。 ・その日の時間の長さ、メンバーに合わせて課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・集団活動で適応力を養う目標と、個別の技能を高めるための目標を組み合わせ作成している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・行事やレクリエーションでは、事前に起案し、役職者の指導、承認を得ている。当日も、内容や役割分担は事前に打ち合わせを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・当たったスタッフ全員で一日の振り返りをし、日誌に子どもの状態を記入している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・半年ごとに、実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1	0	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	・会議が開催されることが少ないが、その場には児童発達管理責任者が参加している。以前よりは担当者会議や当センターへの訪問モニタリングが増えて、情報共有ができるようになってきており、それを教室に持ち帰りスタッフに周知している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	0	5	0	・送迎サービスがなく、親御さんによる送迎なので、学校と情報共有をすることはほとんどない。 ・相談支援事業所主催の会議が、学校で開かれるときはお会いするが、時間調整などで連絡を取り合うことはない。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	0	0	・特別な医療的ケアが必要な児童はいないが、てんかん発作のある児童の場合、発作時は、保護者に連絡し、指示を仰いでいる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	0	・保護者から情報を頂いている。 ・事業所さんから連絡を頂いたことがなく、当センターからも連絡を取ったことはない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	0	・問い合わせや相談がある場合は、情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	1	4	・今のところ助言を受けるケースがありません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	0	・母体となるコロロ発達療育センター主催の行事では、コロログループの幼稚園児や兄弟なども参加されるので、一緒に活動する機会は毎月ある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	5	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・送迎サービスをしていない分、行帰りに親御さんとやり取りができるので近況や問題行動を伺える。それを基に、その日のプログラムを変更して対応することもある。問題意識は共通していると感じる。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	0	・親の勉強会を実施している。ときに、母子学習や母子歩行などを行い、お母さんとも課題ができるよう具体的に支援をしている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	・日頃、親御さんの質問は、連絡帳や送迎時の立ち話、またメールや電話で回答するなど、出来るだけ早く対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	・保護者からは、学校ではないので必要がないとの声が多い。先輩お母さんの体験談を聞きたいという声は多いので、そのようなテーマで集まる機会は年に2回ほど設けている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	・苦情等があった場合は、すぐに役職者に報告し、早期に対処するよう努めている。日誌に記入するとともに、報告書を作成し、スタッフ全員で内容を共有するようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・会報、活動報告を定期的には発行していないが、年に一度は活動報告としてお知らせや勉強会での報告をしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・年賀状の張り出しには住所を伏せるなど、掲示物にも配慮をしている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・話ことばだけによる情報伝達はうまく伝わらないこともあるので、連絡帳に記入、お便りやメールなど、端的に文字化するようにしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	4	・親御さんからは必要性を感じないとの声が多いが、今後検討していく。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル、虐待防止マニュアルは、策定し、職員には、周知している。防犯マニュアルについては作成をしたので、今後保護者に周知していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	・半年に一度、定期的に避難訓練を実施している。所轄の消防署にも届出を行っている。 ・定期的に行っているが、日曜日に行うことが多いので、これからは避難訓練ウィークとして、一週間行い、保護者への理解を深めた方がよい。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	・本部が主催する人権研修に参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	・身体拘束に関しては、その必要性が生じた場合、または、家族からの要請があった場合は、組織的に決定し、本部の定めた手順に則り、進めていくこととする。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	・アレルギーのある児童については保護者からの指示により対応している。昼食はすべて家庭で用意していただいている。おやつを食べる場合は、親御さんに事前に確認している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	・全員で回覧し、情報共有している。